

懸賞SA 解答 2025年 4月号

- 問1 正解④** 外国人による入国の自由について、判例（最大判昭53.10.4）は、憲法22条1項で保障されている居住・移転の自由には含まれず、国際慣習法上と同じく、憲法上も保障されているものではない旨判示している。
- 問2 正解③** 同行要求ができるのは、その場で質問をすることが本人に対して不利である場合、又は交通の妨害となる場合のいずれかをもって足りる。
- 問3 正解①** まだ犯罪の実行を決意していない他人を唆(そそのか)して、特定の犯罪を実行させるのは、教唆犯である。また、間接正犯は、他人を道具として利用し犯罪を実現するものであるが、ここで実現されるのは、あくまで自己（本人自身）の犯罪である。
- 問4 正解②** 捜査の端緒は、刑訴法その他の法律に定められているものに限られない。例えば、新聞その他出版物の記事、インターネット上の情報、第三者による通報・投書など、法律上の規定がなくても、捜査の端緒となり得る。
- 問5 正解⑤** 感謝状は、所定の事項について、功労があると認められる警察部外の者又は団体に対して授与するものである。なお、警察職員として功労があり、若しくは成績が優秀であると認められる者に対して、又は業績が優秀であると認められる部署に対して授与するものは、賞誉である。
- 問6 正解①** 親族が起こした事件・事故に対する示談金等を名目に金銭等をだまし取るといった手口を使うのは、オレオレ詐欺である。キャッシュカード詐欺盗の手口は、警察官等を装って電話をかけ、被害者にキャッシュカード等を準備させた上で、隙を見るなどしてそれを窃取するというものである。
- 問7 正解⑤** 地域警察官は、原則として警察署長の定めた勤務基準により勤務を行うが、勤務基準を形式的に適用した場合に生じる不都合に対処すべき場合については、勤務変更がなされることとなる。
- 問8 正解④** 犯人は、犯行前に時間待ちした場所や逃走途中に潜伏した場所等に、不用意に種々の証拠となる資料を遺留することがあるので、現場保存は、犯罪の行われた地点だけでなく、犯行前後の行動を推定して広範囲に実施することが必要である（犯捜規87条）。
- 問9 正解②** 道路標識又は道路標示により歩行者の横断の用に供するための場所であることが示されている道路の部分は、横断歩道である（道交法2条1項4号）。安全地帯とは、路面電車に乗降する者若しくは横断している歩行者の安全を図るため道路に設けられた島状の施設又は道路標識及び道路標示により安全地帯であることが示されている道路の部分を用いる（同項6号）。
- 問10 正解③** 凡例の正しい読み方は「はんれい」であり、書物の編集方針や使用方法、独自記号や略語の意味などを説明した部分のことをいう。